

鴨沢～七ツ石山～石尾根 山行報告

【山城】 奥多摩

【ルート】 鴨沢～七ツ石山～石尾根～奥多摩駅

【登山方法】 ハイキング縦走（1名：テント泊 3名：小屋 素泊まり）

【日程 天気】 2019年2月16日（土） 2月17日（日） 両日とも晴れ

【参加者】 CL 澤田淳子 SL 大木裕見子 鈴木憲二 鈴木愛子（記録）

【行程】

○2月16日（土）

千葉駅 6:33⇒東京駅 7:16⇒奥多摩駅 9:17 着 9:30 のバスに乗り鴨沢で降りる 10:04 着⇒鴨沢のバス停近くの「山の休憩所 かゑる」でコーヒータイトム⇒「山の休憩所 かゑる」のご主人が車で小袖まで送ってくれる⇒小袖発 11:00 登山開始⇒堂所 12:38⇒七ツ石小屋着 13:45 澤田 CL テント幕営。小屋 素泊まりの受付を済ませる。⇒七ツ石小屋発 14:05⇒七ツ石山頂上着 14:35⇒往路を小屋に向かって帰る。七ツ石小屋に 15:00 着。

○2月17日（日）

七ツ石小屋 6:55 発⇒水場 行動食用の水をくむ 水場発 7:00⇒千本ツツジ⇒高丸山⇒鷹ノ巣山避難小屋 8:55 着 9:15 発⇒鷹ノ巣山頂上 9:40⇒水根山⇒六ツ石山分岐 11:15⇒三ノ木戸山分岐 12:05⇒羽黒山⇒羽黒三田神社⇒奥多摩駅 14:00 着⇒もえぎの湯で汗を流す⇒奥多摩駅発 16:50 の電車に乗る⇒19:30 頃 帰葉

○内容

・2月16日（土）

メンバー皆が、雲取山は何度も登ったことがあるので、今回の山行は石尾根を最後まで歩く事を目的とし、今日は七ツ石小屋より上は、行ける所まで行って帰って来ようと話し合う。

登山開始前に、澤田 CL から以前に行ったことがある鴨沢バス停近くの「山の休憩所 かゑる」という感じがいいお店がある話を聞き、皆が行きたいという事になり行ってみる。

そのお店はご夫婦で経営していて、お二人が優しくて本当にいい感じであった。

室内をうろろうしていた猫がいて、「山の休憩所 かゑる」の従業員を紹介し「不定期勤務です」と書いてあり、それが猫のことであり、猫の名前の「小池さん、トニー、アピー、マク」等と共に、猫の顔の絵が描いてあり、ユーモラスに紹介してあった。今日は「小池さん」ともう一匹の猫（名前は忘れた）がいて、おとなしい猫で猫に癒された。

少し早いですが、軽い腹ごしらえをし、楽しいお茶タイムであった。40分位ゆっくりしてしまいました。

お店のご主人が「小袖に用事があるから、そこまで車に乗せて行ってあげる」と言って下さり、お言葉に甘えて乗せて頂く。車で10分位であったが、アスファルトの道であるし、緩い登り坂でもあるし、歩くとなると、きつい。ラッキーであった。ご主人に感謝である。

小袖発 11 時登山開始。杉と桧の樹林帯を 15 分位歩いたら、昭文社の地図に載っている登山道と合流した。

水場を過ぎ、昔、平 将門が七ツ石山を目指し登った時に休憩をしたという堂所を過ぎ、そこから小一時間位で七ツ石小屋に着いた。



「山の休憩所 かゑる」のご主人が小袖で撮ってくれる。



七ツ石小屋の手前

澤田 CL がテントを張り、小屋泊の受付（大木さん、鈴木憲二、愛子、は小屋 素泊まり）を済ませ七ツ石山に向かう。七ツ石小屋までは雪はなかったが、そこから上部は所々雪があった。25分位歩いたら、七ツ石神社があった。新しく建てかえられてきれいになっていた。これからの登山の無事をお願いし、お参りする。



澤田 CL の今宵の我が家



七ツ石小屋

そこから少し進むと、平 将門が敵の兵のわら人形を作って、弓の名人に打たせたら、そのわら人形が全部石になってしまったという伝説が書いてある看板があった。その周りには大きな立派な岩がいくつも並んでいた。

小屋から 30 分で七ツ石山の頂上に着く。少し曇っていて、富士山や南アルプスは見えなかった。近くの山々は見えた。雲取山は全然雪がついていなかった。ここより上部に行くことは諦め、往路を下る。小屋着 15 : 00。

小屋の自炊する所で、皆それぞれ自炊しながら、ストーブを囲みみんなで夕食を食べる。皆とは、今夜の登山客の私達 4 人と、単独行の女性 1 人と小屋番の方 2 人の計 7 人。今日は小屋のオーナー夫妻は休暇で下山していて、代替りの小屋番の人がいた。みんなで山談義に花を咲かせ、楽しいひと時を過ごす。

夕食、宴会が終わり、眠りに就こうとする時に湯たんぽを貸してくれた。



平 将門の家来が敵の兵の藁人形を作り、弓で打ったら
大きな岩になったという岩



七ツ山頂上にて

布団もペチャンコではなく厚みもあり、毛布も厚みがあり暖かい毛布で寒くなく、よく眠れた。

澤田CLも「冬山用のシュラフで羽毛が一番沢山入っているいいシュラフなので、テントでも中は寒くなかった」と言っていた。

・2月17日（日）

朝、5時起床。夜が明けたら小屋の前から、富士山、三頭山、雁ヶ腹摺山がきれいに見えた。（富士山以外の山名は小屋の人が教えてくれた）

6：55 七ツ石小屋を出発。小屋から5分位の所に水場があり、水は凍っていない。小屋の人曰く「湧水なので、冬でも凍らない」とのこと。テルモス用のお湯は小屋でくれた。水場で行動食用の水をくむ。水場を7：00 出発。



冬でも凍らない湧水の水場



水場から12～13分歩いた所の雪の道

歩き始めて12～13分したら、少し積もっている雪道となる。でもアイゼンは必要なかった。20分位歩いたら、見晴らしの良い少し広いところに出た。そこが「千本ツツジ」というところだったのか…？ 看板がなかったので分からないが…。時間的にそうだと思う。富士山と南アルプスがとても綺麗に見えた。



鷹ノ巣山からの富士山

更に歩を進め、高丸山、日蔭名栗山を越え、8:55 鷹ノ巣山避難小屋に着く。綺麗な小屋で20分も休憩をしてしまった。そこで鷹ノ巣山は山頂へ行くか、山頂へは行かず、巻いて行くか話し合い、山頂へ行く事にする。鷹ノ巣山頂上着9:39。ここからも、富士山、南アルプスがとても綺麗であった。鷹ノ巣山の登り下りが急坂できつかった。



鷹ノ巣山頂上にて



鷹巣山～の南アルプス

更に歩を進め、水根山、城山を超え、六ツ石山分岐に着く。六ツ石山分岐に着く5分位手前の登山道の所が、今まで歩いてきた道の中で一番雪が一杯あった。分岐で、六ツ石山頂上に行くか行くまいか話し合う。頂上には行かない事にする。ここから先は山頂へは行かないで、奥多摩駅に行こうと話し合う。(三ノ木戸山も山頂には行かない)



今回のコースで一番雪があった所（六つ石山分岐の手前）



奥多摩駅近くの蠟梅の花

更に歩を進め、羽黒三田神社につく。「もうすぐ奥多摩駅、最後まで怪我をしないで無事に下山できますようにお願いし、お参りする。

奥多摩駅が近くなり、集落の間を歩くと、蠟梅の花が咲いていて、近づくと良い香りがした。紅梅、白梅の花も綺麗に咲いていて、春を感じた。

それから間もなくして、奥多摩駅に 14:00 到着。長丁場の石尾根全部を歩き終え、充実感一杯、大きな喜びの瞬間であった。

汗を流そうと、玉翠荘に行ったらお休みで、もえぎの湯に行く。湯船につかり、至福のひと時を過ごす。そして、駅の近くのお蕎麦屋さんでお疲れ様会をし、奥多摩駅発 16:50 の電車に乗り、帰路に就いた。

○今回の山行を終えて

- ・長丁場の石尾根を参加者の皆さんと一緒に楽しく最後まで歩き通せたことが、充実感一杯で、とても嬉しい。これも偏に、ご一緒した皆さんのお陰と感謝の気持ちで一杯です。皆さん、本当に有難うございました。
- ・雪を期待して、冬靴で行ったが、雪はほんの少力で、残念であった。
- ・ネットの記録は、奥多摩駅から鴨沢に向かうコースの記録の方が多かった。私達は、反対の鴨沢から奥多摩駅に向かった。私は下りの方が好きなので、それで良かったと思う。奥多摩駅へ向かう方は下りが多い。奥多摩駅から鴨沢に向かう方は、登りがかなりきつい所が何か所もあった。トレーニングには良いコースだと思った。
- ・石尾根は、広葉樹が多く、春の新緑、秋の紅葉が綺麗だろうなと思いながら歩いた。春や秋も歩いてみたいと思った。